

第70回（令和5年度）

彦根市美術展覧会

市展目録

会期 9月10日(日)～9月17日(日)

※9月11日(月)は休館日

時間 9時30分～17時00分

※9月17日(日)は15時00分まで

入場無料

会場  ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町187-4)

日本画	第1・2研修室（メッセホール棟 2階）
洋画	第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）
彫刻	メッセホール（メッセホール棟 3階）
工芸	第3研修室（メッセホール棟 2階）
書	メッセホール（メッセホール棟 3階）
写真	展示ロビー・視聴覚室（メッセホール棟 1階）



マークがある作品の写真撮影はご遠慮ください

「第73回彦根市秋の文化祭」主催事業／「第53回滋賀県芸術文化祭」参加事業



文化で滋賀を元気に！

日本画部門

審査員：箱崎 睦昌 先生

大分県出身 京都府宇治市在住



「華巖ノ瀧」

1972年	京都市立芸術大学 日本画専攻科 修了
1984年	「横の会」の結成に参加
1989年	京都市芸術新人賞 受賞
1995年	タカシマヤ文化基金 新鋭作家奨励賞 受賞
1996年	信貴山玉蔵院奉納記念 襖絵展
1998年	「NEXT」の結成に参加
2003年	京都迎賓館会議室壁画の原画制作 京都府文化功労章 受賞
2015年	清水寺平成縁起絵巻展
2017年	第30回京都美術文化賞 受賞
2019年	京都市芸術振興賞 受賞
現在	嵯峨美術大学 名誉教授 京都国立近代美術館 評議員

＜総 評＞

昨年に引続いての審査であるが、コロナ禍もほぼ終息し、出品点数が大きく増える事を期待していた。しかし、昨年より少なく、大変残念に感じた。日本独自の伝統的表現領域の良さを多くの人に理解してもらいたいものである。



■ 市展賞 ■

「春日」

牧野 昌代

山野草に蝶やトカゲをアレンジした
淡い色調の画面は作家が楽しみながら
描いた姿が伝わってくる。



■ 特選 ■

<BBCびわ湖放送賞>

「秋明菊」

杉本 恵美子

たおやかな秋明菊を丁寧に描いているが、胡
粉の使用には注意が必要である。



■ 特選 ■

<株式会社京都放送賞>

「湖北の春」

山岡 勝

10号の小品ではあるが、雪の残る伊吹山に
桜を添え、柔らかな色調で、描きこまれている。



■ 特選 ■

< 京都新聞賞 >

「隆起」

中溝 治美

タイトルの隆起は柱状節理の岩を描いているのか？ 荒い筆使の水墨ではあるが、力強さを感じる。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「花菖蒲」

曾我 光博

群青の花菖蒲と空間の淡い黄色がほぼ補色関係で艶やかさをまし、画面には大きな破綻もない。

日本画部門

展示場所 : 第1・2研修室 (メッセホール棟 2階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	春日	牧野 昌代	
特選	秋明菊	杉本 恵美子	BBCびわ湖放送賞
特選	湖北の春	山岡 勝	株式会社京都放送賞
特選	隆起	中溝 治美	京都新聞賞
佳作	林檎の花	長崎 典子	
佳作	望	小島 充子	
入選	apple!apple!apple!	伊藤 恵朗	
入選	想	北村 妙子	
入選	楚々	志摩 まゆみ	
入選	ファミリー	澤邊 雅子	
入選	御神火祭	北村 幸子	
入選	爛漫	小泉 英子	
入選	富貴	早崎 清美	
入選	夏・野菜	竹内 歌子	
入選	クレマチス	馬場 初代	
無鑑査奨励賞	花菖蒲	曾我 光博	無 鑑 査
	惜秋	立江 恵美	無 鑑 査
	花に心をよせて	松居 直子	無 鑑 査
	華厳ノ瀧	箱崎 睦昌	審 査 員
	野良の魂	眞野 康光	委 員
	間	本田 充	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

洋画部門

審査員：平岡 靖弘 先生

京都府出身 京都府京都市在住



「愛でる」

1968年 京都市立美術大学
(現・京都市立芸術大学)
西洋画科卒業
1979年 京展京展賞 受賞(同98年)
1992年 第60回記念独立展独立賞 受賞
1993年 第36回安井賞 受賞
京都市芸術新人賞 受賞
2000年 両洋の眼展河北倫明賞 受賞
2004年 京都府文化賞功労賞 受賞
2007年 京都美術文化賞 受賞

現在 独立美術協会 会員

<総評>

“第70回展おめでとう御座居ます。” 今年の夏は、とても暑い日が続き大変ではありましたが、甲乙つけ難い力作が出揃いました。“誰もが市民賞だ。” 願わくば、若い人の“声”をも聴きたい思いでした。



■ 市展賞 ■

「蓮 眠る」

目戸 てるよ

水面に残る枯れた蓮、何気ない情景を静かなトーンの響きにのせ、再生への期待感を美しく謳い上げています。



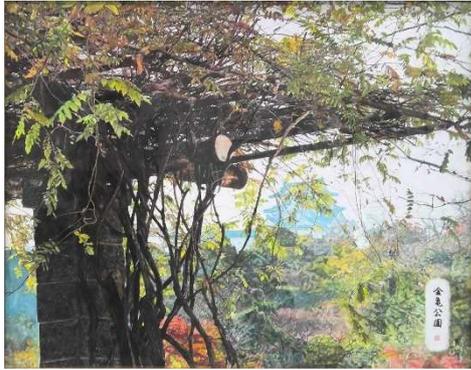
■ 特選 ■

<彦根商工会議所 会頭賞>

「涙模様」

山田 博子

ドシャ降りの雨？ 現実の見馴れた世界が歪められ、その虚構成の中に“美”を捉えたユニークさがある。



■ 特選 ■

<産経新聞社賞>

「晩秋に望む」

田村 欣実

ダイナミックな構図、緻密な描写と共にスケールの大きさを感じられる秀作となっています。



■ 特選 ■

<中日新聞社賞>

「美女と野獣」

森口 政博

現代絵画は平面化の時代、このユニークな表現はフレッシュさを感じさせてくれます。



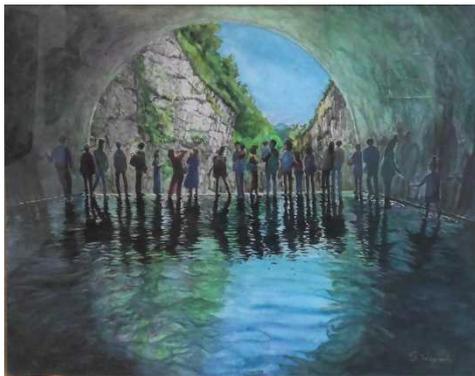
■ 特選 ■

<朝日新聞社賞>

「山中の溜池」

藤本 修

美しい池、その感動をスケッチ風に、こきみよいタッチで描かれ、作者の素直な心が感じられる。



■ 特選 ■

<NHK大津放送局長賞>

「水鏡」

林 章江

水の表現に“にじみ”技法を使い、開放感に魅了される光景を捉え、心に迫る“モノ”創りとなっています。



■ 特選 ■

<読売新聞社賞>

「鳥の落としもの」

北川 美穂

描写に思いが込められ、密度の高い静謐な表現となっている。緊張感の中に“美”が現れている。

■ 無鑑査奨励賞 ■



「夏の日」

百々 修子

時代の光を浴び、親子(?)が手をつなぎ
未来に向かう姿のようで、とても爽やか感が
把えられ“愛”がある。

洋画部門

展示場所 : 第1・2リハーサル室 (グランドホール棟 2階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	蓮 眠る	目戸 てるよ	
特選	涙模様	山田 博子	彦根商工会議所会頭賞
特選	晩秋に望む	田村 欣実	産経新聞社賞
特選	美女と野獣	森口 政博	中日新聞社賞
特選	山中の溜池	藤本 修	朝日新聞社賞
特選	水鏡	林 章江	NHK大津放送局長賞
特選	鳥の落としもの	北川 美穂	読売新聞社賞
佳作	懐かしき風景	夏川 郁子	
佳作	漁船	小野 淳	
佳作	去りゆく夏	川崎 みどり	
佳作	潮干狩り	西村 通子	
入選	「おーい、春よ！」	杉野 澄子	
入選	川辺	川口 昭次郎	
入選	八幡堀にて・5月	藤本 厚子	
入選	山村の暮らし	中野 正雄	
入選	駅舎(近江鉄道)	松野 幸恵	
入選	教会のある風景(五島)	木下 二二男	
入選	いろは松雪化粧	高田 徳一	
入選	炭焼き窯	脇坂 政子	
入選	何も無い赤い砂漠と人生	土井内 数実	
入選	湖北の湖畔	古野 信雄	
入選	森の中の泉	小林 淳二	
入選	母のみそ作り	門野 信子	
入選	雪の銀座町	中島 伸明	
入選	朝市	中島 郁代	
入選	ひまわり	盛岡 淳子	
入選	ある風景	八木 清子	
入選	陽ざしの記憶	馬淵 万智子	
入選	初秋の湖	鈴木 真知子	
入選	六月の香り	関 壽賀子	

賞	題	名	氏 名	備 考
入 選	自画像		中村 稔	
入 選	在りし日の古民家（多賀河内）		松林 憲一	
入 選	鳥居本駅のトロッコ		徳江 淳子	
入 選	おとなりさん		小林 知恵子	
入 選	響		荻田 明美	
入 選	静寂		久田 満	
入 選	堀と大学		田中 明夫	
入 選	湖岸の華やぎ		伊藤 壽美江	
入 選	絶景の美（高島市 メタセコイヤ並木）		宮地 正子	
入 選	静寂		小松原 正二	
入 選	春の兆し		堀畑 末一	
入 選	きんぎょ		酒居 美代子	
入 選	静物		米田 紀代子	
入 選	夏の朝		上田 和光	
入 選	泰然伊吹		村中 弘治	
入 選	立葵		瀬戸口 園子	
入 選	ゴミの山		岡嶋 康子	
入 選	旅先にて		中田 加代子	
入 選	中堀散策		廣瀬 巖	
入 選	晩秋		小林 淑	
入 選	夏休み		川瀬 加代子	
入 選	二人		太田 靖之	
入 選	三島池の蓮		古川 文雄	
入 選	路傍の鬼瓦		竹田 建行	
入 選	酒蔵のある風景		服部 和夫	
入 選	日常		今村 栄子	
入 選	五個荘町の散策路		北川 彰	
入 選	初冬のけやき道		野坂 喜則	
入 選	祈り		清水 悦子	
入 選	空っぽどうし		藤野 恵子	
入 選	川辺		田島 久子	

賞	題名	氏名	備考
無鑑査奨励賞	夏の日	百々 修子	無鑑査
	favorite	菅森 菜穂子	無鑑査
	バカンス	久田 知恵子	無鑑査
	ジャスチンさん	加藤 みどり	無鑑査
	幻想	押谷 たか子	無鑑査
	老樹	土屋 幸	無鑑査
	一陽来復	北川 八恵子	無鑑査
	夏暁	中野 裕子	無鑑査
	東大寺	今井 博子	無鑑査
	伊吹の里	小田柿 寿郎	無鑑査
	蔵のある風景	小田柿 弘子	無鑑査
	美貌の青空	江竜 美子	無鑑査
	桜	西脇 操	無鑑査
	河	佐渡 一清	無鑑査
	ピン-2023	門野 三喜重	無鑑査
	静物	福原 善行	無鑑査
	越前の港	比喜多 利彌	無鑑査
	愛でる	平岡 靖弘	審査員
	白馬山麓晩秋	嶋貴 佑一	委嘱
	十五歳夏	久川 邦代	委員
	子供の情景	平居 幸一郎	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

彫刻部門

審査員：竹谷 邦夫 先生

京都府出身 京都市在住



「クッションにすわれたよ」

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 1980年 | 第34回滋賀県展 文部大臣奨励賞受賞 |
| 1987年 | 第39回京展 京展賞受賞 |
| 1991年 | 第21回日本彫刻会展 日彫賞受賞 |
| 1994年 | 第26回日展 特選受賞 |
| 1997年 | 第29回日展 特選受賞 |
| 1998年 | 第10回記念 アートヒル三好ヶ丘
彫刻フェスタ 特選受賞 |
| 2006年 | 第16回秀明文化賞受賞 |

現在 日展特別会員、日本彫刻会運営委員
日本美術家連盟会員、京都精華大学講師

<総評>

今回は出品数も増え、人物・動物や仏像などテーマがバラエティーに富み、見ごたえのある展示ができました。彫りこむ作品が多くみられましたが、彫刻は粘土や紙などで形を創っていくこともできます。いろんな素材を使って立体造形を楽しんでください。



■ 市展賞 ■

「肉食恐竜」

三浦 正夫

躍動感があり、2匹の組み合わせが見事です。また、色や部位による質感の工夫に作者のこだわりが好印象です。



■ 特選 ■

<エフエムひこね賞>

「戦士」

目戸 律夫

竹の根っこからイメージを膨らませ、独創的な人物像に仕上げ、台座の色が作品を引き締めています。

彫刻部門

展示場所 : メッセホール (メッセホール棟 3階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	肉食恐竜	三浦 正夫	
特選	戦士	目戸 律夫	エフエムひこね賞
佳作	親子亀	清水 弘司	
入選	阿弥陀如来立像	森川 隆章	
入選	親子亀	谷口 齊	
入選	不動明王	竹内 嘉明	
入選	小仏阿弥陀	中村 勉	
入選	寝牛	疋田 勝司	
入選	ヤマセミ	北川 豊海	
	ドラゴン	一円 敏彦	無鑑査
	クッションにすわれたよ	竹谷 邦夫	審査員
	広州からの留学生	志萱 州朗	委員
	風清か	小谷 政雄	委員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

工芸部門

審査員：森野 彰人 先生

京都府出身 京都市在住



「禾目天目釉白金彩
『天長地久 一往情深
順順利利』容」

- 1969年 京都に生まれる
- 1993年 大阪芸術大学芸術学部陶芸コース 卒業
- 1995年 京都市立芸術大学大学院美術研究科 修了
- 1998年 第5回国際陶磁器展 美濃'98 銀賞受賞
(多治見)
- 2007年 京都市芸術新人賞 受賞
- 2009年 現代工芸への市展 -装飾のカ-
(東京国立近代美術館/東京)
- 2012年 タカシマヤ美術大賞 受賞
- 2020年 京都の陶芸展 -5家17人の挑戦-

現 在 京都市立芸術大学 美術学部教授
芸術資源研究センター所長
IAC (国際陶芸アカデミー) 会員
清水焼団地協同組合 副理事長

<総 評>

身近な素材を用いた「もの造り」の延長にある工芸は、素材や技術の特性を用い、見落とされがちな日常に潜む魅力の発見する術です。技術の向上だけではなく、日常に潜む魅力の発見を楽しんでください。



■ 市展賞 ■

＜滋賀県芸術文化祭奨励賞＞

「一輪のときめき」

岩泉 三朗

台座に様々な加飾と工夫を施し、創意に満ちた魅力的な一輪挿しに仕上がっています。



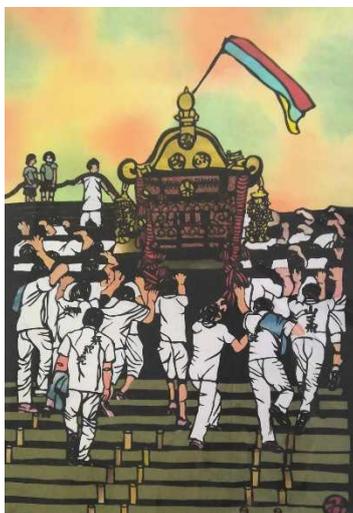
■ 特選 ■

＜彦根市教育委員会教育長賞＞

「笑う門には福来たる」

平田 昭

土の特性を良く理解し、丁寧に造形、施釉された技術力の高さが魅力の見事な作品です。



■ 特選 ■

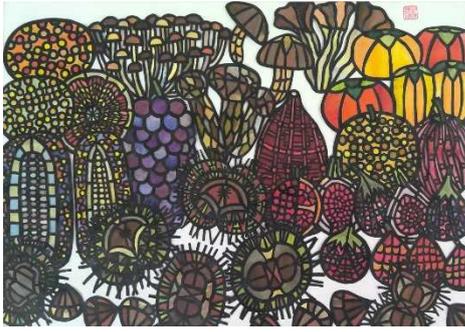
＜稲枝商工会 会長賞＞

「久留美神社の春祭り」

田口 巳千栄

身近なお祭りの日常性を上手に切り取り、切り絵を活かした見事な表現になっています。

■ 無鑑査奨励賞 ■



「おいしいものいっぱい」

山本 勝彦

大胆な構図で配置された野菜を切り絵の特性と落ち着いた色調で表現された見事な作品です。

工芸部門

展示場所：第3研修室（メッセホール棟 2階）

賞	題名	氏名	備考
市展賞	一輪のときめき	岩泉 三朗	滋賀県芸術文化祭奨励賞
特選	笑う門には福来たる	平田 昭	彦根市教育委員会教育長賞
特選	久留美神社の春祭り	田口 巳千栄	稲枝商工会会長賞
佳作	月夜の森	手塚 智子	
佳作	牡丹	喜久川 喜美代	
入選	能面 顰	田口 実	
入選	桔梗紋入り鉄錆地二十四間筋兜	山口 四郎	
入選	鞆の浦	青山 芙美子	
入選	ポンペイ遺跡	伊藤 安世	
入選	坂と石畳のある馬籠宿	北川 清達	
入選	押絵（十二支）	山川 美江	
入選	鶏足寺の秋	長崎 春樹	
入選	彦根屏風 民のひととき	國門 登美恵	
入選	花入れ	川添 大介	
入選	早春	遠藤 裕子	
入選	つまみ細工のゼンタングル	竹内 糸美	
入選	舞	近藤 友子	
入選	昼下がりの彦根港	古川 勇	
無鑑査奨励賞	おいしいものいっぱい	山本 勝彦	無 鑑 査
	なかよし	谷本 佳代子	無 鑑 査
	フランスにて	川端 澄代	無 鑑 査
	禾目天目釉白金彩 「天長地久 一往情深 順順利利」容	森野 彰人	審 査 員
	瞬く	伊藤 恵朗	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

書部門

審査員： 柘 英峰 先生

愛知県出身 愛知県名古屋市在住



「林逋詩」

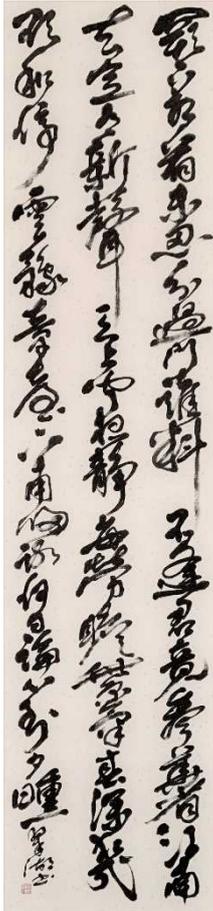
- | | |
|-------|-----------------------|
| 1992年 | 第24回日展 初入選（以後13回入選） |
| 1996年 | 第24回日本の書展中部展 中日新聞社賞受賞 |
| 1997年 | 第47回中日書道展 準大賞受賞 |
| 2003年 | 第20回読売書法展 読売新聞社賞受賞 |
| 2005年 | 第22回読売書法展 読売俊英賞受賞 |
| 2008年 | 第25回読売書法展 読売俊英賞受賞 |
| 2009年 | 第71回謙慎書道展 春興賞受賞 |
| 2010年 | 第72回謙慎書道展 春興賞受賞 |
| 2011年 | 第73回謙慎書道展 春興賞受賞 |
| 2014年 | 第64回中日書道展 記念賞受賞 |

現 在

- 日展 会友
- 読売書法会 理事
- 謙慎書道会 常任理事
- 中日書道会 理事
- 道風展 審査会員
- 猗園文会 準会員
- 中日文化センター 講師
- 玉信会 副会長

<総 評>

伝統ある書展の審査を拝命し重責に身の引き締まる思いで真摯に対峙いたしました。漢字、仮名等多分野に渡り多彩な表現、各自意欲的な作品が出品されていると感じました。近江の書の奥深さ、書文化への熱意、感心が深く心に残り感銘いたしました。



■ 市展賞 ■

「程鉅夫詩」 柴田 翠湖

線に律動があり明清調の筆致。字の大小瘦肥又墨量にも変化があり筆線の牙え線条が抜群な最優秀作。

■ 特選 ■

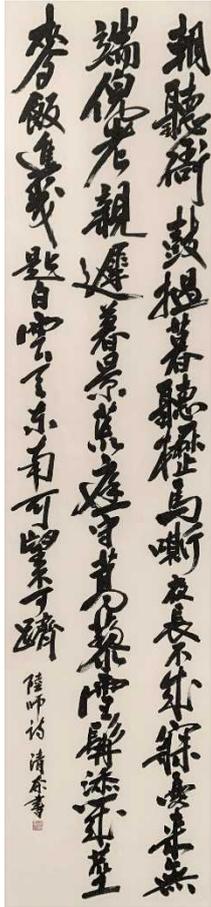
<彦根ロータリークラブ会長賞>

「秋風」 橋本 洋子

繊麗な雅な仮名の世界を演出。

線の細太、粘りを入れながら行間の余白、清澄美が際立つ傑作。





■ 特選 ■

<彦根観光協会会長賞>

<次世代芸術奨励賞>

「陸師詩」

徳山 清奈

濃墨で重量感と迫力ある筆捌き。運腕大きく躍動感に溢れた優秀作。

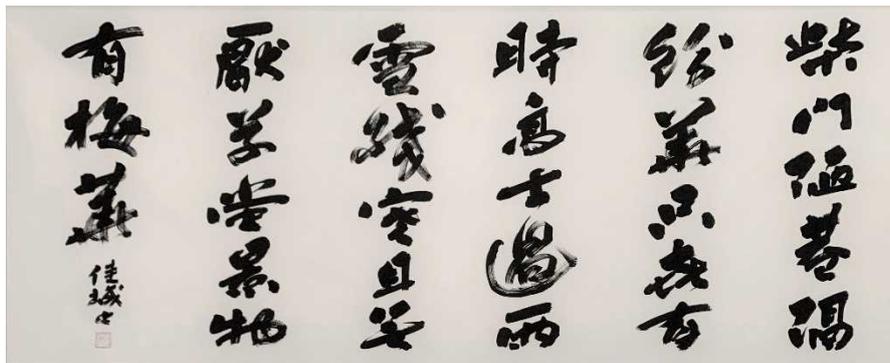
■ 特選 ■

<彦根金亀ライオンズクラブ会長賞>

「石田東陵詩」

福井 佳城

単体でありながら各文字の空間呼応が見事。紙面に漲る強靱な筆力と線の緊張感が圧巻の作。



書部門

展示場所 : メッセホール (メッセホール棟 3階)

賞	題 名	氏 名	備 考
市 展 賞	程鉅夫詩	柴田 翠湖	
特 選	秋風	橋本 洋子	彦根ロータリークラブ会長賞
特 選	陸師詩	徳山 清奈	彦根観光協会会長賞 次世代芸術奨励賞
特 選	石田東陵詩	福井 佳城	彦根金亀ライオンズクラブ会長賞
特 選	宋禧詩	川村 圭子	公益財団法人 平和堂財団 理事長賞
佳 作	近江路の芭蕉	前川 房子	
佳 作	蔣士銓詩	江竜 美子	
佳 作	邵誼詩	近藤 暁彦	
佳 作	文徵明詩	川崎 保博	
入 選	日下部鳴鶴千字文行書	喜久川 喜美代	
入 選	千字文 (かなまじり)	佐藤 和子	
入 選	千字文	平居 圭子	
入 選	千字文	外村 房子	
入 選	千字文	林 悦子	
入 選	六言句	小森 寿美江	
入 選	千字文	高井 泰子	
入 選	送秘書晁監還日本国〈王維〉	細江 喜代子	
入 選	漢詩「池間花欲雨 窓冷竹生風」 唐・皇甫冉	多田 翠功	
入 選	野圃東風	押谷 綾子	
入 選	利休七則	田中 八重子	
入 選	線の行者 (小坂奇石のことば)	田中 利佳	
入 選	王維詩	筒井 和彦	
入 選	石山切伊勢集より	森 幸子	
入 選	藤原行成筆白氏詩巻	疋田 礼子	
入 選	袁枚詩	小林 由喜枝	
入 選	蔣士銓詩	細溝 恵	
入 選	漢語	松宮 眞由美	
入 選	漢語	田口 昭子	
入 選	岑参句	小林 剛	
入 選	美空ひばりのよう	久保田 謙治	
入 選	百人一首	岡野 あき	
入 選	明詩三首	佐野 美千子	
入 選	臨米芾	上田 茉奈	

賞	題 名	氏 名	備 考
無鑑査奨励賞	秋登宣城謝朓北樓	北川 依子	無 鑑 査
	瑠璃色の地球	森野 椿草	無 鑑 査
	徒然草より	堤 笑子	無 鑑 査
	会津ハ－の歌	後藤 有啓	無 鑑 査
	離れる気がしないベスト・フレンドより	堤 豊宏	無 鑑 査
	うめの花	岡野 有泉	無 鑑 査
	山村暮鳥詩二篇	内西 謹子	無 鑑 査
	王維詩	高萩 有子	無 鑑 査
	良寛の句	西脇 大雄	無 鑑 査
	万葉集・春	川村 啓子	無 鑑 査
	霊機	山田 祥代	無 鑑 査
	林逋詩	柘 英峰	審 査 員
	小倉百人一首より	安居 孝昌	委 員
	怪石墨竹図	中村 哲	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

写真部門

審査員：山本学先生

兵庫県出身 兵庫県宝塚市在住



「start to freeze」

個展

- 2008年 木～それぞれの居場所～
富士フィルムフォトサロン
東京・大阪・福岡・名古屋
- 2017年 「Japanesque」
キャノンギャラリー
銀座・大阪・福岡

写真集

- 2017年 「Japanesque」風景写真
出版刊行

現 在

日本写真家協会会員（JPS）
日本旅行写真家協会正会員
日本風景写真家協会会員
キャノンEOS学園など多くの写真教室や
クラブでの指導
市展や観光コンテストでの審査員を歴任

<総 評>

写真を撮る行為は即出来、その瞬間は誰もが画面に集中し異空間へ連れて行ってくれます。コロナも落ち着き始め、心に余裕が出て来ている感じが皆さんの写真の中にも表れている様に思います。タイトルがもう少しひねって欲しいですね。

■ 市展賞 ■



「熟練工」

北川 孝

宇宙飛行士が宇宙から地球を見ているかのようなユーモラスさがあり楽しく見える作品だった。

■ 特選 ■

〈彦根市議会議長賞〉



「歩み」

伊吹 章

マザーレイクを感じる情景であり、親子の休日を活かし、どこか懐かしさもある印象が思えました。

■ 特選 ■

〈毎日新聞 大津支局長賞〉



「飛翼の輝き」

辰巳 敬造

光を意識した露出の調整も上手く、慌ただしい現場の臨場感が伝わって来ます。ボリュームがあって良いです。



■ 特選 ■

<滋賀彦根新聞社賞>

「時のながれ」

平田 芳美

県内のどこかの駅舎でしょうか。帰宅時の慌しく表現するかの様なスローシャッターによるテクニックがすばらしい。



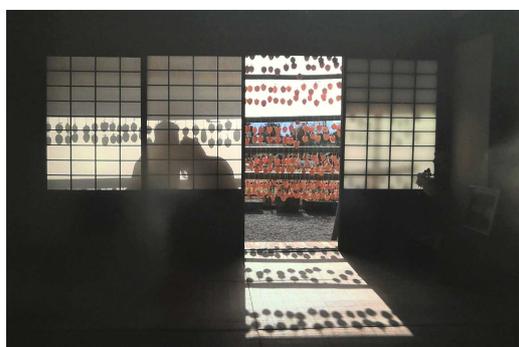
■ 特選 ■

<彦根文化新聞社賞>

「心安らぐ時」

藤居 治行

静寂な水没林の様子が描写され、フラットな光の為、写真を見る者の眼を休める事が出来る写真ですね。



■ 特選 ■

<彦根タイムス社賞>

「小春日和」

渡辺 克実

この場でこう撮ろうと思われた事は、日頃から色々な被写体に出合わせ、勉強されているのだろうな…と予測された写真だと感じました。



■ 特選 ■

<彦根青年会議所 理事長賞>

「日射し」

本田 義則

一葉の中での物語性がある深い写真です。実像と虚像とのバランスが絶妙でした。



■ 特選 ■

<彦根南ロータリークラブ 会長賞>

『『希望の星』』

脇阪 義孝

周囲の色味の青味がかかったミステリアスさを感じる表現と床にカメラを置きながらの撮影は遠近感も出ていて不思議でした。



■ 特選 ■

<彦根ライオンズクラブ 会長賞>

「赤い実食べた」

高田 徳一

日本画を彷彿させる力の作品で美しい。赤い実を啜れたくちばしの向けた方向に空間を空けているのがとてもバランスがとれていて良い。



■ 無鑑査奨励賞 ■

「夜の侵入者」

小椋 俊道

犬だけ、かまきりだけの単写真では面白みに欠けますが、ライトを当てて重ねたのはインパクトがあった。

写真部門

展示場所 : 展示ロビー・視聴覚室 (メッセホール棟 1階)

賞	題名	氏名	備考
市展賞	熟練工	北川 孝	
特選	歩み	伊吹 章	彦根市議会議長賞
特選	飛翼の輝き	辰巳 敬造	毎日新聞 大津支局長賞
特選	時のながれ	平田 芳美	滋賀彦根新聞社賞
特選	心安らぐ時	藤居 治行	彦根文化新聞社賞
特選	小春日和	渡辺 克実	彦根タイムス社賞
特選	日射し	本田 義則	彦根青年会議所 理事長賞
特選	「希望の星」	脇阪 義孝	彦根南ロータリークラブ 会長賞
特選	赤い実食べた	高田 徳一	彦根ライオンズクラブ 会長賞
佳作	春の情景	西村 鉄夫	
佳作	ファミリー	伊藤 実男	
佳作	まつり最高潮	鈴木 栄子	
入選	過ぎ行く時	了戒 裕視	
入選	絶景	瀧波 博之	
入選	桜雨	下島 耕治	
入選	神の灯	宮西 新市	
入選	守って	小財 郁男	
入選	アーーー何	菅野 哲郎	
入選	ごちそうさまでした	白井 逸人	
入選	落ち葉の参道	白井 展枝	
入選	銀色のパレット	中川 明子	
入選	赤色に染まる街	青山 敬子	
入選	清々しく凜と	西村 和子	
入選	湖上騒然	強力 美津雄	
入選	里山幽玄	武田 繁康	
入選	揺らぎ	若松 庄三	
入選	にんまり	北村 栄一	
入選	水面かける	北村 圭子	
入選	どちらへ・未来へ	山本 清	
入選	神事	小川 武司	

賞	題名	氏名	備考
入選	静謐	林 久雄	
入選	夕暮のJCT	石井 勝男	
入選	光が差し込む光芒	上田 弘行	
入選	祈り	北川 良治	
入選	火の鳥	近野 恭美	
入選	別世界	岸辺 剛	
入選	佳き日	二階堂 登美子	
入選	夜の指定席	保永 重治	
入選	立春のころ	夏川 宗一	
入選	ゆらっと遊覧	小林 伊三夫	
入選	伊勢神宮	沢田 初枝	
入選	冬の並木道	田中 勇	
入選	兆し	小菅 正一	
入選	寄りそうパートナー	田島 龍幸	
入選	Shadow	河崎 彰	
入選	出番前	加納 久男	
入選	ピノコの♪恋だろ♪	川村 啓子	
入選	朝陽の導き	中野 貴夫	
入選	気もちいいなあ、ケロッ	門野 久昭	
入選	廃墟に降り注ぐ	村田 朝男	
入選	山伏の祈り	鳶津 貴志	
入選	歩きスマホに喝	青木 宏樹	
入選	巖冬	高橋 勲	
入選	どろんこ最高潮	小林 正治	
入選	ファンタジー	高橋 康子	
入選	雨上がり	大島 喜八郎	
入選	光芒の滝	川幡 千英子	
入選	神光	井上 金三	
入選	朝もや	居原田 順治	
入選	水たまり	山口 銀治	
入選	面影（おもかげ）	中村 薫	

賞	題 名	氏 名	備 考
無鑑査奨励賞	夜の侵入者	小 椋 俊道	無 鑑 査
	涼	鈴木 秀人	無 鑑 査
	トタン壁の蝸牛	三島 康嗣	無 鑑 査
	家路	若林 武司	無 鑑 査
	金色の夕まずめ	池田 誠	無 鑑 査
	麗らかな春	北川 剛	無 鑑 査
	里の秋	大前 岳雄	無 鑑 査
	トランスフォーメーション・花火	近野 光生	無 鑑 査
	窓越しの秋	越智 重春	無 鑑 査
	曲谷の浮島	北村 勝	無 鑑 査
	悠久の溪谷	佐竹 鉄次郎	無 鑑 査
	川面に煌く十字星	相田 行雄	無 鑑 査
	祈り	塩谷 勉	無 鑑 査
	琵琶湖の朝	三竿 恵理子	無 鑑 査
	start to freeze	山本 学	審 査 員
	不思議な空間	山口 善一	委 員
	山里の朝	石丸 孝	委 員

※入賞順および受付番号順に掲載しています。

※題名・氏名の旧字体等は置き換えて記載しています。

<出品数>

(点)

	一 般	無 鑑 査	審 査 員 等	計
日 本 画	15	3	3	21
洋 画	61	17	4	82
彫 刻	9	1	3	13
工 芸	18	3	2	23
書	33	11	3	47
写 真	83	14	3	100
計	219	49	18	286

*「無鑑査」…過去に市展賞または特選を3年連続受賞、もしくは通算で5回受賞された方です。無鑑査の方の出品作品は、審査員の審査を受けることなく展示されます。

<入賞および入選数>

(点)

	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査 奨励賞	計
日 本 画	1	3	2	9	1	16
洋 画	1	6	4	50	1	62
彫 刻	1	1	1	6	0	9
工 芸	1	2	2	13	1	19
書	1	4	4	24	1	34
写 真	1	8	3	49	1	62
計	6	24	16	151	5	202

*「無鑑査奨励賞」…無鑑査作品の中で最も優秀な作品に贈られる賞です。

<審査員および委員>

(敬称略・順不同)

	審 査 員	委 員
日 本 画	箱崎 睦昌	眞野 康洸 本田 充
洋 画	平岡 靖弘	久川 邦代 平居 幸一郎
彫 刻	竹谷 邦夫	志萱 州朗 小谷 政雄
工 芸	森野 彰人	伊藤 恵朗
書	柘 英峰	安居 孝昌 中村 哲
写 真	山本 学	山口 善一 石丸 孝

第70回(令和5年度)彦根市美術展覧会

芸術の秋！彦根市美術展覧会では、彦根市および近隣市町の皆さんから作品を公募し、審査を経た力作を多数展示しています。

芸術の秋にふさわしい、美術作品をぜひお楽しみください。

□会 期： 9月10日(日)～9月17日(日) ※9月11日(月)は休館日

9:30 ～ 17:00 ※9月17日(日)は15:00まで

□会 場：  ひこね市文化プラザ (彦根市野瀬町187-4)

入場
無料

□部 門： 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真

表 彰 式

9月17日(日)

【時間】13時00分～ 【会場】ひこね市文化プラザ エコーホール

表彰式では、市展賞、特選に入賞された皆様を表彰します。

作品鑑賞会

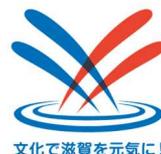
9月17日(日)

【時間】14時00分～ 【会場】各部門展示会場

表彰式終了後、各展示会場にて入賞作品の作品鑑賞会を行います。

主催：彦根市、彦根市教育委員会

後援：彦根市議会、彦根商工会議所、稲枝商工会、公益社団法人彦根観光協会、
公益社団法人彦根青年会議所、彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、
彦根ライオンズクラブ、彦根金亀ライオンズクラブ、公益財団法人平和堂財団、
NHK 大津放送局、BBC びわこ放送、KBS京都、朝日新聞大津総局、
毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞、産経新聞社、
彦根文化新聞社、彦根タイムス社、滋賀彦根新聞社、
エフエムひこねコミュニティ放送株式会社



文化で滋養を元気に！

<順不同>

彦根市美術展覧会事務局(彦根市観光文化戦略部 文化振興課)
〒522-8501 彦根市元町4番2号 彦根市役所4階
TEL.0749-23-7810 FAX.0749-21-3080



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に